

令和7年度心のバリアフリー普及啓発について

1. プレイイベント(展示型&体験型イベント)

(1)開催概要

①目的

ポスターや体験、当事者の声を通じて、他者が抱える困難を想像し、自分とは異なる条件を持つ多様な他者への理解を自然に深めてもらうことを目的に開催しました。

②概要

- ・開催日時:2026年1月20日(火) 11時~15時
- ・場 所:イオン茅ヶ崎中央店 1階正面出入口横 イベントスペース

③内容

- ・言葉だけで絵を伝えてみよう!
あるお題に対して、視覚を使わずに、言葉だけでイメージを共有する体験
協力:今井委員(茅ヶ崎市視覚障害者福祉協会)
- ・インスタントシニア体験
高齢者の身体機能の変化及び心理的变化を一時的に体験
協力:若林委員(社会福祉法人茅ヶ崎市社会福祉協議会)
- ・心のバリアフリーポスターの展示
13種類のポスターを展示しました
- ・心のバリアフリークイズ
クイズ形式でまちなかのバリアを取り除く取り組みなどを紹介しました
- ・心のバリアフリーの木を育てよう
「今日体験してみたの感想」など、参加者に自由に書いてもらって、1つの木を完成させました。
- ・その他
各コーナーをめぐるスタンプラリーや心のバリアフリーくじ(心のバリアフリーに関する言葉を入れたくじ)を実施しました。あわせて、心のバリアフリー講演会のPRも行いました。



(2)来場者数

20名

(3)参加者の感想など(心のバリアフリーの木より抜粋)

- 心のバリアフリーって初めて聞きました
- 体験してみて自分の知らない世界を感じる事ができて良かったです
- 心のバリアフリーについて知ることができて良い体験ができました



2. 講演会

(1)開催概要

①目的

講演会では、心のバリアフリーに対する理解をさらに深め、日常生活での実践へとつなげる契機とすることを目的に開催しました。

②開催日時・場所

- 日時 2026年2月9日(月) 10時~11時 30分
- 場所 茅ヶ崎市役所 分庁舎6階 コミュニティホール 大集会室

③開催要旨

- テーマ みんなで考える 心のバリアフリー
- 講師 セイン・カミュ氏(一般社団法人 障がい者自立推進機構 理事)
- 主な内容

講演の核となる4つのポイントは次のとおりです。

ポイント1 特別扱いしない配慮

対等な立場で向き合い、やりすぎず放置もしない「バランス」が心地よい関係を作る。

ポイント2 「分からない」を怖がらない

未知を怖がらず、まずは「ちょっと聞いてみる」くらいの気軽な気持ちで接する。

ポイント3 想像力のバリアフリー

「困っているかも」と相手に思いを巡らせる想像の積み重ねが、はじめの第一歩。

ポイント4 正しさよりも気持ち

「正しいから行動する」のではなく、「役に立ちたい」という前向きな気持ちを優先する。たとえ断られても失敗ではなく、その関わろうとする姿勢が次の一步に繋がる。



講演会の周知用ポスター

(2)来場者数

約 100名

(3) アンケート結果(抜粋)

アンケートは 36 名の方より回答いただきました。結果は次のとおりです。

問1 あなたのご状況に最も近いものを教えてください

個人	福祉・医療・教育関係者	企業・行政関係者	当事者・ご家族	その他
22%(8人)	22%(8人)	47%(17人)	6%(2人)	3%(1人)

問2 講演会は今後の役に立つ内容でしたか?

はい	いいえ
100%(36人)	0%(0人)

問3 講演会をとおして「障がい」や「バリアフリー」に対して意識が変わりましたか?

はい	いいえ
83%(30人)	17%(6人) ※

※いいえの回答では、「既に学んでいる」「元々の考えが近くて意識が変わっていない」などの理由が挙がっていました。



3. 庁内研修

市役所職員向けの研修は、新採用職員と全課かい対象の2回実施しました。全課かいを対象として研修では、終了後にアンケートを実施しました。

(1) 新採用研修

- 開催日: 2025年11月12日(水) 70分
- 受講人数: 60名
- 内容: 職員課と連携して、心のバリアフリーについて、体現するための3つのポイントを中心に講義、及びグループワークを行いました。



(2)障がいの理解を深めるための研修

①概要

- 開催日:2026年1月6日(火) 70分
 - 受講人数:72名
 - 内容: 職員課、障がい福祉課と連携し次の内容で実施しました。
 - ・障害者差別解消法、障害者活躍推進計画についての紹介。
 - ・心のバリアフリーを体現するため、次の3点について考え、気付いていく。
 - (1)「障がいはどこにあるのか?」を理解する
 - (2) 社会にある「バリア」によって人々に生じている困りごとや痛みに気づく
 - (3) 共生社会をつくるために、具体的な行動を起こす
- ※当日はグループワークのほか、座学や当事者の職員が参加しパネルディスカッションを行いました。

②アンケート結果(抜粋)

アンケートは57名の方から回答いただきました。結果は次のとおりです。

問1 今回の研修は今後の役に立つ内容でしたか。

そう思う	ある程度そう思う
68%(39人)	32%(18人)

問2 心のバリアフリーについて理解することができましたか。

そう思う	ある程度そう思う
60%(34人)	40%(23人)

問3 研修を通してバリアフリーへの意識は変わりましたか。

そう思う	ある程度そう思う	どちらでもない
39%(22人)	44%(25人)	17%(10人)



4. JR 茅ヶ崎駅構内でのポスター掲示

東日本旅客鉄道株式会社の協力により、JR 茅ヶ崎駅構内連絡通路で12月の障害者週間(3日~9日)に合わせてポスターの掲示を行いました。



5. 令和7年度まとめ

今年度は、対面で実施したイベントや講演会が参加者からの満足度も高く、心のバリアフリー普及に向けた効果的な機会となりました。また、研修においても高い満足度が得られており、意識の定着を目指した継続的な取り組みが必要と考えています。ポスター掲示に関しては、駅構内への掲示に加え、イベントや教室でも活用したことで、多くの方に見てもらう機会となりました。